

# 静岡県東部地域企業経営動向調査

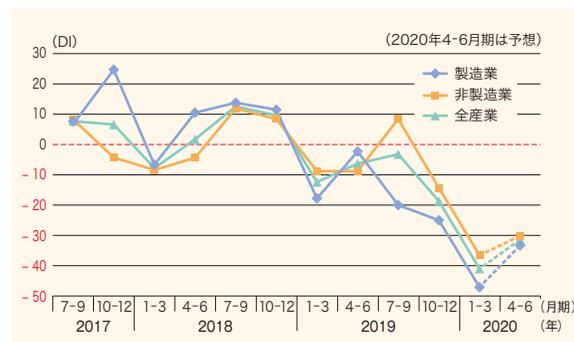
(2020年1-3月期実績、2020年4-6月期見通し)

## ① 業況概要(自社)

### 全産業DIは、東日本大震災直後の値を下回る

静岡県東部地域における2020年1-3月期の業況判断DI(全産業:前期比)は、2期連続して大幅な低下となった(前期-18.7→今期-41.0:以下同様)。この値は、東日本大震災発生直後の-32.3(2011年4-6月期、ただし前年同期比のDI)を下回り、リーマンショック発生直後の-39.8(2008年10-12月期、ただし前年同期比のDI)に匹敵する低い水準となっている。

2020年4-6月期の予想DI(今期比)は、製造業(-33.3)、非製造業(-30.1)、全産業(-31.4)とも上昇に転じる見通しであるが、いずれも-30以下と低い水準にとどまっている。



### 業種別天気図



(2019年10-12月期、2020年1-3月期は前期比。2020年4-6月期は今期比予想)

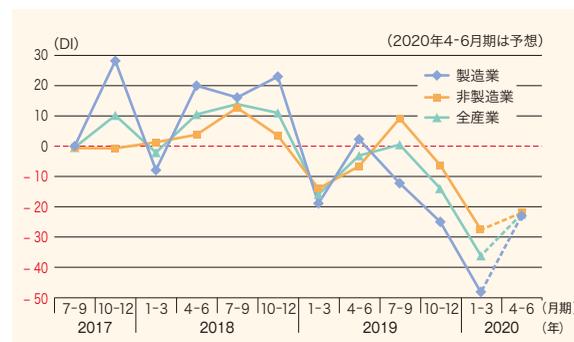
	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス	旅館・その他宿泊所	建設
2019年10-12月期	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️
2020年1-3月期	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️
2020年4-6月期	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️

## ② 売上動向

### 製造業の多くの業種と旅館・その他宿泊所で、DIの低下が顕著

2020年1-3月期の売上動向DI(全産業:前期比)は20ポイント以上の大幅な低下となっている(-14.0→-36.2)。製造業では一般機械器具、金属製品、パルプ・紙・紙加工品での低下が著しく、全体でも-25.0→-48.3と大幅に低下している。一方、非製造業も卸・小売・サービス、建設とも低下、うち旅館・その他宿泊所は大幅に低下している。

2020年4-6月期の予想DI(今期比)は、製造業(-23.0)、非製造業(-22.0)、全体(-22.4)とも上昇に転じる見通しであるが、いずれも「減少」超の水準にとどまっている。

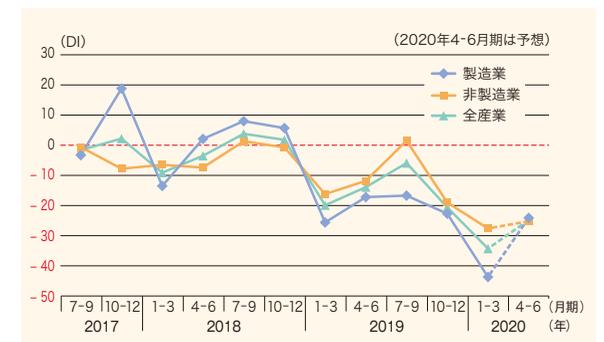


## ③ 利益動向

### 「建設」を除くすべての製造業・非製造業各業種で、DIが低下

2020年1-3月期の利益動向DI(全産業:前期比)は引続き低下している(-20.6→-34.3)。業種別にみると、製造業では金属製品、一般機械器具、パルプ・紙・紙加工品などすべての業種でDIが低下し、全体でも-22.7→-43.7と大幅に低下している。一方、非製造業は建設では前期比改善となったが、卸・小売・サービスでは低下、特に旅館・その他宿泊所では大幅に低下している。

2020年4-6月期の予想DI(今期比)は、製造業(-24.1)は20ポイント近い改善、非製造業(-25.1)でも上昇を見込み、全産業では-24.8となっている。



## ④ 経営上の問題点

### 「受注・売上の停滞・減少」とする企業が全体の50%を超える

「受注・売上の停滞・減少」と回答する企業の割合がさらに上昇し、全体の50%を超えている(47.4%→51.9%)。業種別では、製造業で56.3%、非製造業で48.8%であるが、非製造業

は前期の37.9%から10ポイント以上増加している。一方、「人材の育成」(47.4%→41.0%)、「求人難」(36.0%→33.8%)はいずれも前期比回答企業の割合が低下している。

	2019年7-9月期		2019年10-12月期		2020年1-3月期		順位変動
	企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1. 受注・売上の停滞・減少	96	43.6%	100	47.4%	109	51.9%	→
2. 人材の育成	87	39.5%	100	47.4%	86	41.0%	↓
3. 従業員の高齢化	82	37.3%	71	33.6%	72	34.3%	↑
4. 求人難	89	40.5%	76	36.0%	71	33.8%	↓
5. 人件費の増加	55	25.0%	55	26.1%	52	24.8%	→
6. 生産・販売能力の不足	49	22.3%	35	16.6%	42	20.0%	↑
7. 原材料・資材・仕入商品の値上がり	40	18.2%	35	16.6%	37	17.6%	↑
8. その他経費の増加	34	15.5%	36	17.1%	36	17.1%	↓

(回答企業220社)

(回答企業211社)

(回答企業210社)

#### 調査の概要

- 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業446社 回答企業数210社(回答率47.1%)
- 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間 実績:2020年1-3月期 見通し:2020年4-6月期
- 調査時点 2020年2-3月

DI: ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標。